



◀みやまきけまん
(けし科)

葉は根生し、花は層状につき、花弁の一方は距となる。
花 期 4~5月
草たけ 30~50cm
生育地 林の中

やぶにんじん(せり科) ▶

ニンジンの葉に似ていて、茎の上部に白色花を5~6花つける。果実はヤブジラミより細長い。

花 期 4~5月

草たけ 40~70cm

生育地 林の中、竹林の中



○あけびの果実の皮は料理。つるは薬用とする。

みつばあけび
▼(あけび科)

葉は3小葉からなるつる性の木本。花は黒紫色で花弁はない。果実は秋に熟し、食用にされる。5小葉からなるものをアケビという。

花 期 4~5月

草たけ つる性の植物

生育地 林内や林のへり



あけびの花

